



世界初！宮脇メソッド国際シンポジウム 横浜国立大学にて開催 2024.10.11



G20地球環境セクション(The G20 Global Land Initiative)は、サウジアラビアが G20議長国を務めていた2020 年にG20諸国によってリヤドで設立。2040年までに荒廃した土地の50%削減を達成するというG20首脳のコミットメントを反映することを目的とする。

2024年10月に世界初となる宮脇メソッド国際シンポジウム「学校の自然教室としての宮脇の森創造に向けて」を目的に27ヵ国より使節団76名含め約200名で開催。



シルワ代表理事の川下が15:40～のワークショップ2（司会：藤原博士）にて、『学校での自然ラボプロジェクトのための資金調達戦略』について、パネリストとして登壇



オフィシャルツアーとなる植樹祭を湘南国際村めぐりの森で同月13日に(公財)鎮守の森のプロジェクトとSilvaが連名主催。総勢203名により苗木34種類500本植樹



宮脇メソッド国際シンポジウムによる YOKOHAMA宣言書開示 2024.12



G20地球環境セクション(The G20 Global Land Initiative)より、宮脇メソッド国際シンポジウムによる各国使節団合議案『YOKOHAMA宣言書』公開

横浜宣言 宮脇フォレスト

私たち宮脇フォレストの実践者・愛好家は、国連砂漠化対処条約G20グローバル・ランド・イニシアチブと森のプロジェクトの共催による第1回宮脇フォレスト国際シンポジウムのために日本の横浜に集まりました。

宮脇フォレストは、気候変動、生物多様性の急速な喪失、土地の劣化、急速な都市化、そして子どもたちや都市生活者の自然離れ、自然界とのつながりの喪失といった、世界的な緊急課題を認識しその解決策を探ります。

生物多様性を高め、気候変動を緩和し、その影響に適応し、荒廃した土地を回復し、人間の幸福に不可欠なかけがえのない生態系サービスを提供します。宮脇昭教授の先見的な仕事と森林再生への先駆的なアプローチに触発され、我々は以下のことを宣言します。

宮脇フォレストは世界的に重要な解決策

宮脇フォレストは、私たちの地球が直面する相互に関連した課題に対処し、次の世代のためにより持続可能な未来を創造するための強力な手段を提供するグローバルソリューションです。

グローバル宮脇森林施業者ネットワーク

世界宮脇森林施業者ネットワークを設立し、協力、知識の共有、アドボカシーのためのプラットフォームとして機能させます。このネットワークは、宮脇フォレストを発展させ、世界規模での実践を促進し、政策やガイドラインの策定に貢献するために、世界中の専門家を結集します。定期的な会合と会議を開催し、コミュニティ形成、ベストプラクティスの交換、宮脇フォレストに関する知識の普及を図ります。このネットワークはまた、プチ森林ネットワーク、国連生態系回復の10年、生態系回復協会など、一致した任務を持つ組織とも協力します。

宮脇教授の功績を称える

私たちは政府、大学、その他の機関に対し、宮脇教授の遺徳を称え、宮脇メソッドの研究と普及に特化したイニシアチブを確立するよう提唱します。これには宮脇フォレストを研究し、宮脇方式を教えるための研究ユニットの設立、大学における宮脇教授チェアの設置、研究を支援するためのフェローシップや基金の助成金などが考えられます。

グローバルアクターの表彰

世界中で宮脇フォレストの開発と実施に大きく貢献した個人、団体、地域社会を表彰する年間賞を設けます。これらの賞は、この分野におけるさらなる行動と革新を奨励し、鼓舞するものです。



宮脇メソッド国際シンポジウムによる YOKOHAMA宣言書開示 2024.12



アプローチの標準化

多様な生態系における宮脇フォレストづくりを成功させ、その利点を最大化するために、地域および生物気候の違いを考慮した宮脇フォレスト植林のグローバルフレームワークまたはガイドラインを開発します。このトピックに関するガイダンス、ビデオ、文献を他の言語に翻訳するよう努力します。私たちはまた、他の機関とも協力して、宮脇メソッドに関する実践者の認定制度を設ける予定です。

教育と能力開発

政策立案者、地域社会、個人などの関係者に宮脇フォレストの恩恵について教育し、宮脇フォレスト植林を実施する専門家の能力を高める努力をします。これにより、地域社会と将来の世代は地域環境の積極的な管理者となり、地球環境の回復に貢献できるようになります。私たちはまた、宮脇メソッドに関するオンライン・コースと対面式コースの両方を開発し、受講生がこのテーマに関する資格と単位を取得できるようにする予定です。

景観への統合

地方自治体、企業、地域社会と協力し、都市再生やレクリエーションパークとして宮脇フォレストを導入していきます。これらの森林を景観に取り入れることで、人と自然とのより深い結びつきを育み、より健康的な暮らしを実現することができます。

学校や大学にネイチャー・ラボを設置

世界中の学校や大学と協力し、宮脇フォレストをキャンパス内に設置し、生きた教育実験室、野外教室、学生のレクリエーションの場として活用します。このようなネイチャー・ラボの創設に学生を参加させることで、私たちは自然と人間との物理的・精神的なつながりを理解する新しい世代を生み出すことができます。

宮脇フォレストを世界へ

情報の一元的な保管場所として機能する包括的なプラットフォームを構築します。このプラットフォームには既存の宮脇フォレストに関するグローバルなデータベースが含まれ、場所、規模、種の構成、生態学的成果などが詳細に記載されます。さらに、各地域の潜在的な自然植生のデータベースや、宮脇フォレストの植林や普及に積極的に取り組んでいる世界の専門家や機関の名簿も掲載されます。このプラットフォームは、専門家、プロジェクト提案者、資金調達の機会をつなぐクリアリングハウスの役割も果たします。このリソースは、知識の共有、協力、そして世界規模での宮脇フォレストの成功した取り組みの再現を促進します。

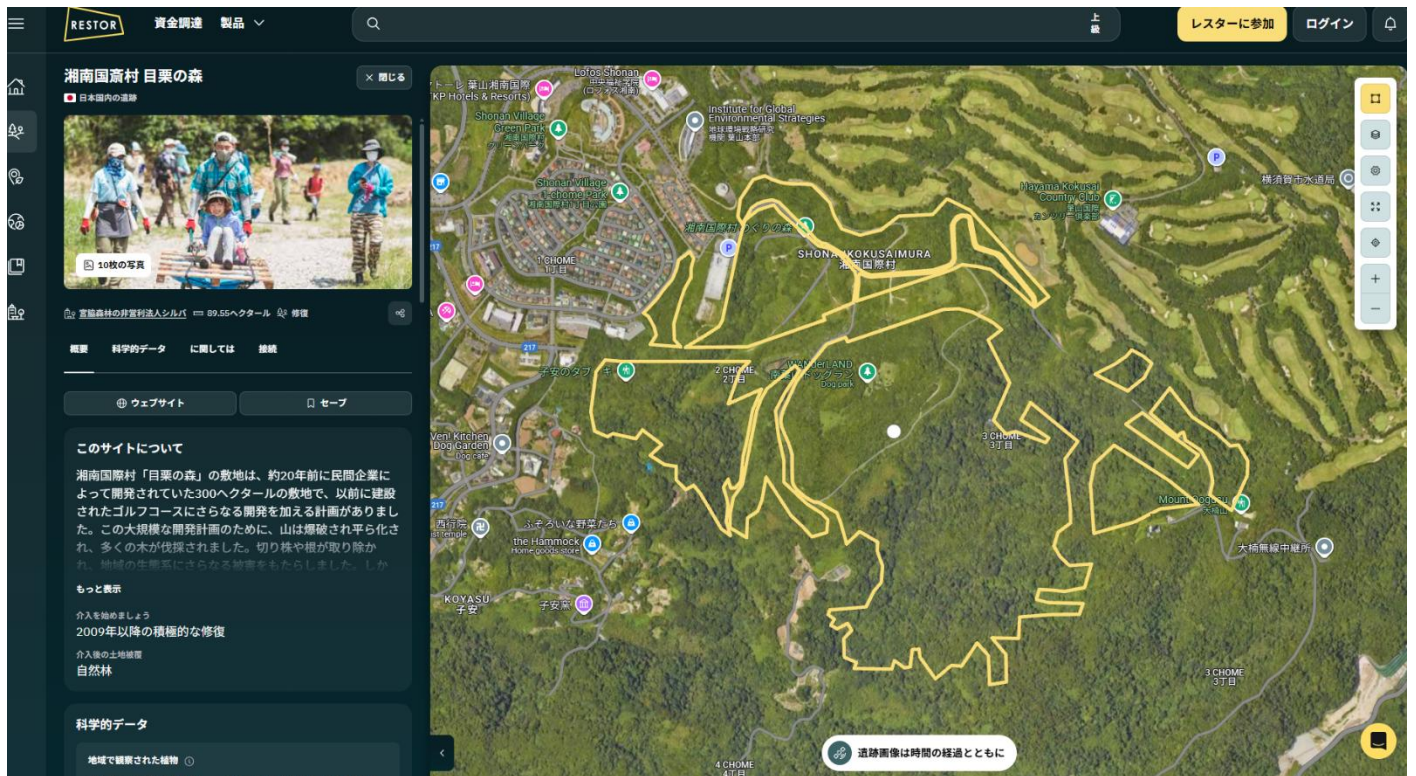
最後に、私たちは、現代の喫緊の課題に対する持続可能で効果的な解決策として、宮脇フォレストを広く採用し、実施することを促進するために、共に努力することを約束します。

2024年10月11日
日本 横浜

G20地球環境セクション(The G20 Global Land Initiative)事務局であるUNCCD(砂漠化対処条約)が窓口となり、UNCCD認定団体のツールを使って、宮脇メソッド実践場所の登録手続きが開始され、湘南国際村めぐりの森をSilvaを通じて登録完了。



G20地球環境セクション事務局UNCCD 宮脇メソッド登録画面



UNCCD(砂漠化対処条約)が窓口となり、UNCCD認定団体のRESTORへの湘南国際村めぐりの森登録画面
ツール運営は、スイスの非営利型団体



昨年の宮脇メソッド国際シンポジウムより、宮脇メソッド知名度が更に向上。2025年11月5-7日の期間にタイ国王
女主催で開催された生物多様性国際会議では、宮脇メソッドチームが約30名集結。Silvaは、めぐりの森での研究解
析が起用されポスターセッションで登壇。今後も毎年、宮脇メソッドに関わるシンポジウムを各国で開催するこ
とが内定している。



自然共生サイトめぐりの森への貢献へ 環境省よりSilvaが支援者証明書を授与

自然共生サイトへの支援を行う方に対するインセンティブ措置として、環境省では、生物多様性の保全に資する自然共生サイトへの支援を公的に認定するための支援証明書を発行を決定。令和7年度前期に制度の本格運用に伴う支援証明書10枚が発行され、非営利型一般社団法人Silva（シルワ）は、その10団体の中で支援団体として環境省より公的に承認をいただき、証明書を以下の内容にて、2025年12月に授与いたしました。

- ・土地本来の潜在自然植生種を用いた植樹による環境保全林の再生（証明書番号：251-008）

土地本来の潜在自然植生種を用いた植樹による環境保全林の再生

申請者情報

非営利型一般社団法人Silva（シルワ）

支援先

湘南国際村 めぐりの森

支援実施日
(支援期間)

平成27年～

活動概要

湘南国際村めぐりの森における定例植樹・育樹祭や通年の育樹作業への人的支援及び植樹地における調査の実施

支援の目的

神奈川県が「湘南国際村めぐりの森」を森林再生を市民による協働参加型のコア事業と位置付け、2008年より「協働参加型めぐりの森づくり推進会議」を組織しています。Silvaは推進会議内において「混植・密植方式植樹推進グループ」のグループ長として活動しており、植樹から森林資源活用までを含む自律的・持続的な森林マネジメントの確立を目指し、植樹後およそ3年間は草刈り等の育樹を行うことにより、メンテナンスフリーな森林再生を行っています。



2025年5月植樹祭



2024年10月G20参加植樹祭



2024年9月森林再生指導員研修

支援の成果

2009年より実施している定期的な植樹祭・育樹祭は2025年11月で29回を迎えます。2024年10月にはG20 Global Land Initiativeの使節団を招き植樹祭も開催し、国際的な広がりとなりました。2025年現在で約2.5haに86,000本の植樹を行っております。2018年より実施している森林再生指導員認定制度においては、86名の指導員が誕生しており、植樹祭や日々の育樹作業で活躍しています。また、植生調査や土壌動物調査も毎年継続的に行っています。



環境省
Ministry of the Environment
証明書番号251-008

自然共生サイトに係る支援証明書

非営利型一般社団法人Silva様

支援サイト情報

サイト名称： 湘南国際村 めぐりの森
サイト所在地： 神奈川県横浜須賀野

サイト責任者： 神奈川県

☒ 維持タイプ ☐ 回復タイプ ☐ 創出タイプ

支援内容に係る情報

支援数： 5つ

※複数支援の場合、2枚目以降に記載

支援①

支援に係る活動内容

土地本来の潜在自然植生種を用いた植樹による環境保全林の再生

インプット

植樹祭に運営スタッフ等約120名を投入

アクティビティ

年2回の定例植樹・育樹祭の開催及び企業・学校向けの、植樹祭・森の講座の実施

支援実施日

定例植樹祭：2024年11月10日、2025年5月11日、及び直前の準備期間あり
企業・学校向けの活動：2024年11月～2025年6月の計7回

インプット

定2回の植樹祭・育樹祭及びスポットの植樹祭に運営スタッフ等約120名を投入
（2024年度実績）

アクティビティ

めぐりの森内の2.5haに6,418本の樹種
（2024年度実績）
2024.11～2025.10

アウトプット

維持費いらずのレジリエンスアップ
（2024年度実績）
2024.11～2025.10

アウトカム

多くの市民に親しめる森の創出
（2024年度実績）
2024.11～2025.10

G20ターゲット

G20ターゲット2、3、5、10への貢献

※記載のとおりにアウトカムが達成することを保証するものではない

